

東商けいきょう集計結果

(中小企業の景況感に関する調査)

平成21年1～3月期

【調査結果のポイント】

・中小企業の景況感は前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれも、8期連続マイナス幅が拡大した。(1、2ページ参照)

・全業種の「売上DI」は、前年同期比、今期水準が8期連続でマイナス幅が拡大した。来期見通しは▲62.8(前期比▲12.7ポイント)となり、特に製造業が▲69.9と極めて低い水準となった。(3、4ページ参照)

○調査項目	1. 業況	: 1ページ
	2. 売上	: 3ページ
	3. 採算(経常利益)	: 5ページ
	4. 資金繰り	: 7ページ
	5. 民間金融機関の貸出姿勢	: 9ページ

【調査の概要】

○調査期間:平成21年2月25日～3月3日

○調査対象:東京23区内の中小企業2,389社

○調査方法:FAXおよび経営指導員による聴き取り

○回答数:964社(回答率40.4%)

※有効回答企業の業種別構成

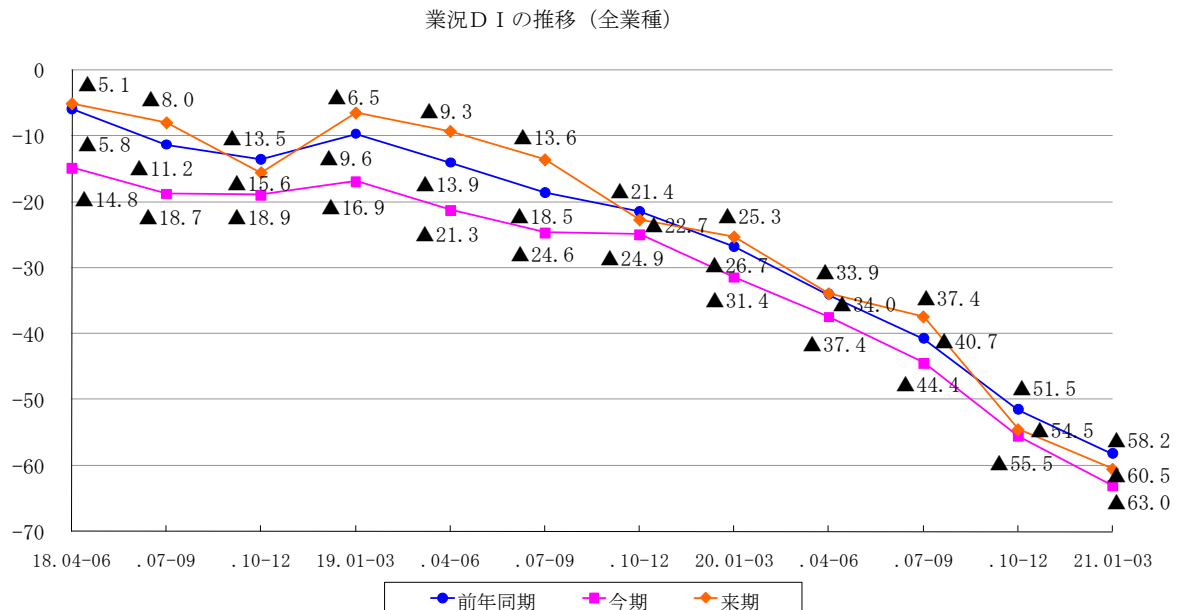
・製造業 277社 (28.7%)	・建設業 117社 (12.1%)	・小売業 136社 (14.1%)
・卸売業 147社 (15.2%)	・サービス業 287社 (29.8%)	

平成21年4月

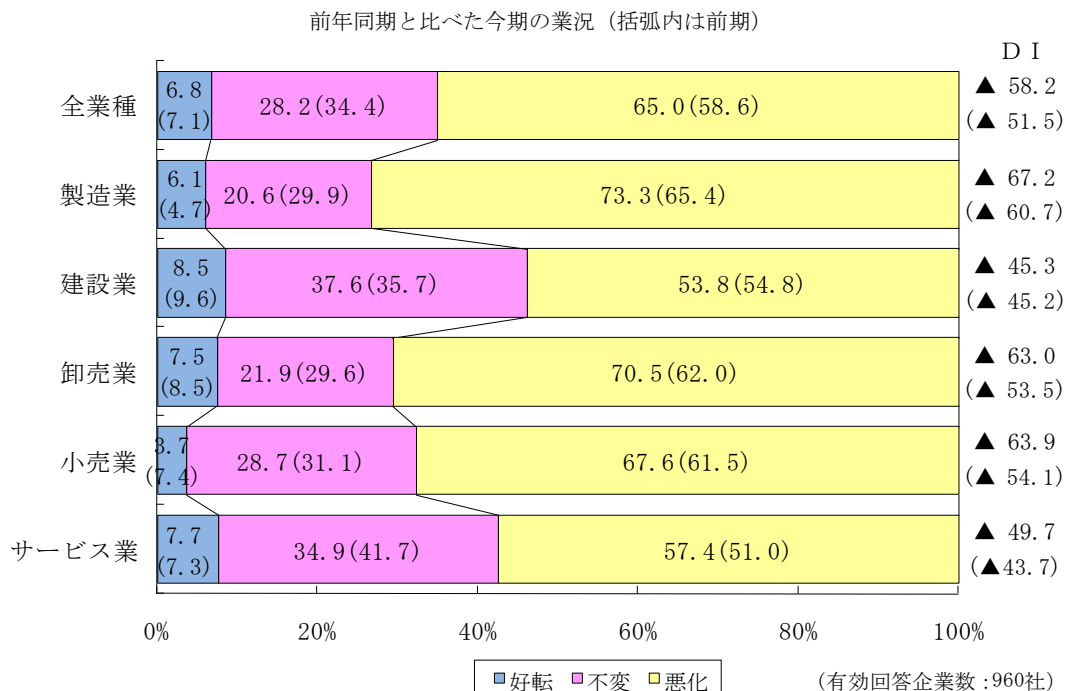
東京商工会議所 中小企業部

1. 業況

○全業種の「業況DI」は、前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれも、8期連続でマイナス幅が拡大した。

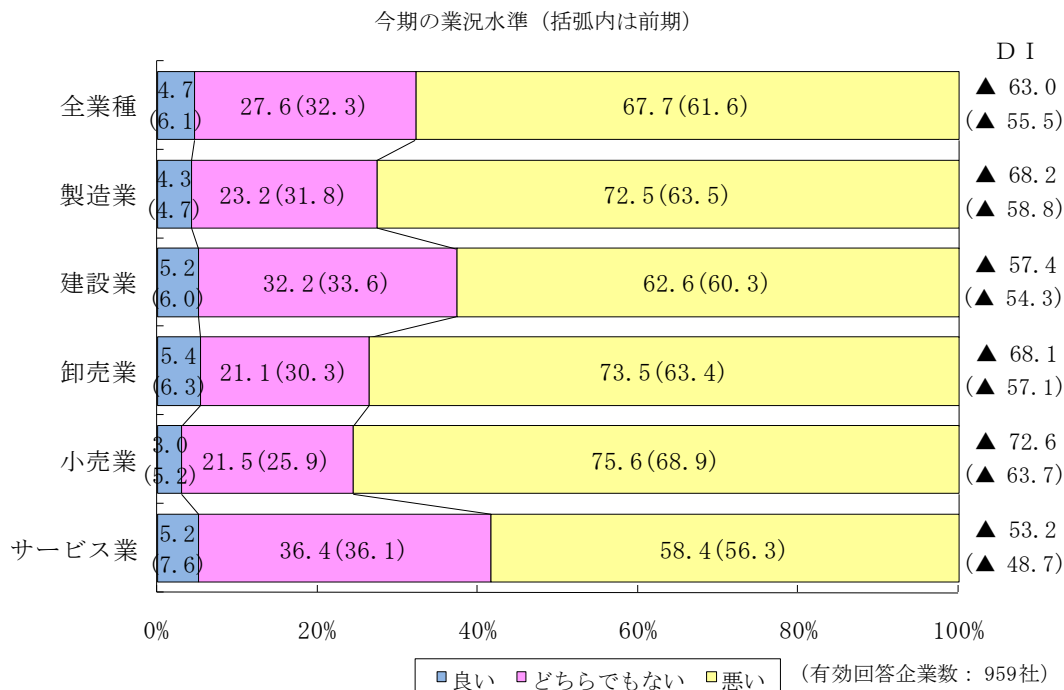


【質問1】前年同期（平成20年1～3月期）と比べた今期（平成21年1～3月期）の業況（自社）はどうですか。



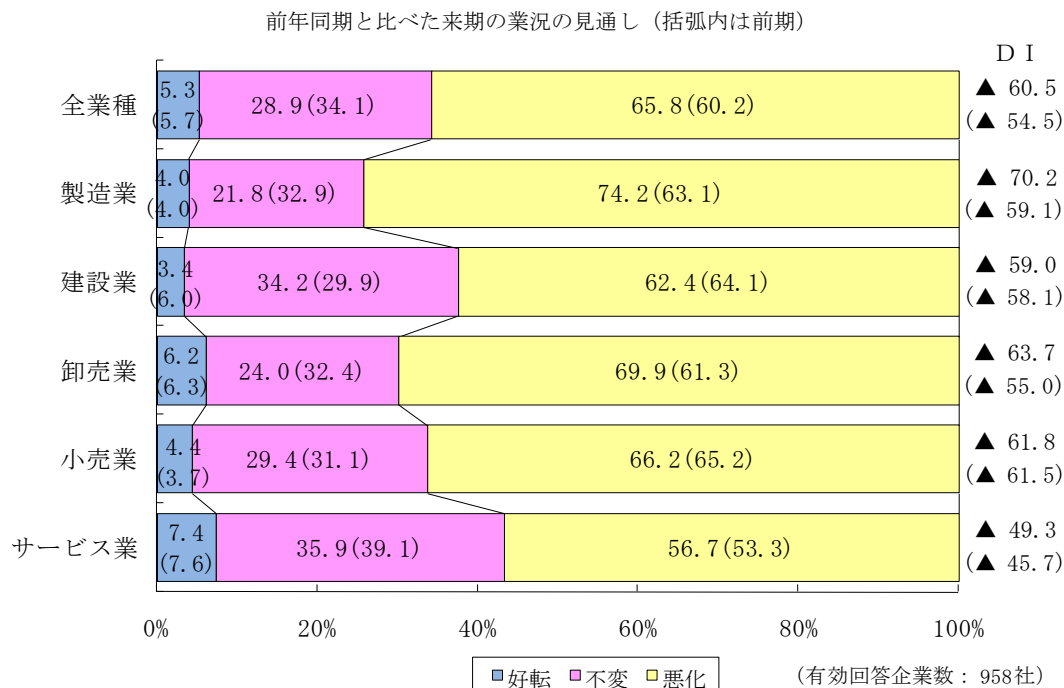
- 全業種の「前年同期と比べた今期の業況DI」は▲58.2（前期比▲6.7ポイント）となり、8期連続でマイナス幅が拡大した。
- 全ての業種でマイナス幅が拡大した。特に製造業が▲67.2（前期比▲6.5ポイント）と極めて低い水準となった。また卸売業が▲63.0（前期比▲9.5ポイント）、小売業▲63.9（前期比▲9.8ポイント）と大幅にマイナス幅が拡大した。

【質問2】 今期（平成21年1～3月）の業況（自社）水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の業況水準 DI」は▲63.0（前期比▲7.5 ポイント）となり、8 期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・全ての業種でマイナス幅が拡大した。特に小売業は▲72.6（前期比▲8.9 ポイント）と極めて低い水準となった。また製造業が▲68.2（前期比▲9.4 ポイント）、卸売業が▲68.1（前期比▲11.0 ポイント）となり大幅にマイナス幅が拡大した。

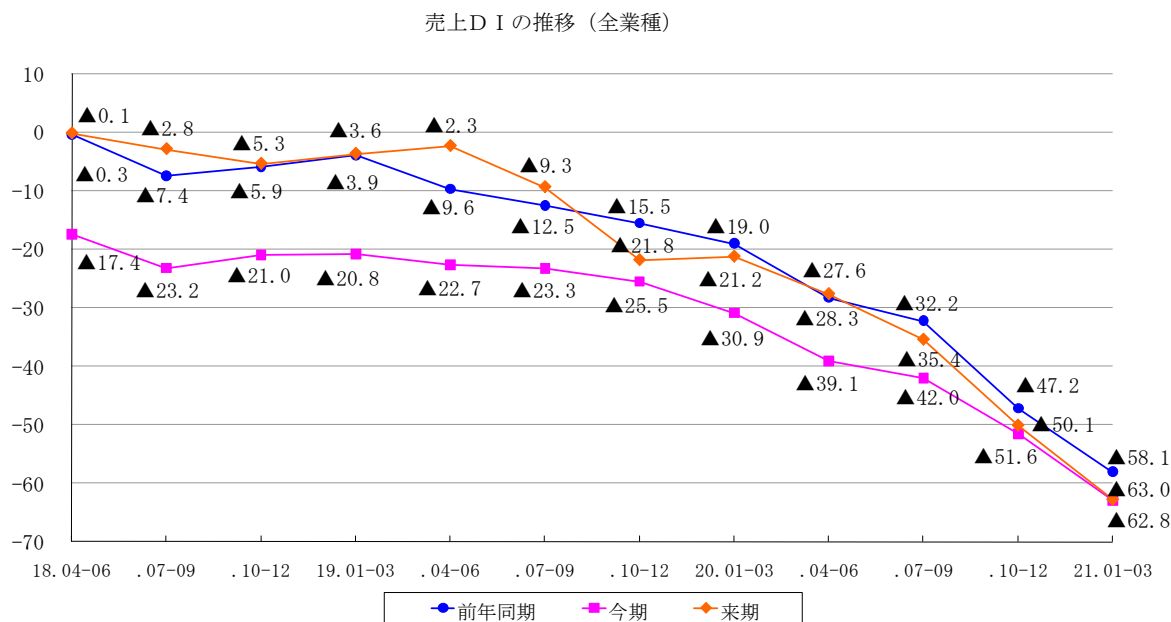
【質問3】 前年同期（平成20年4～6月期）と比べた来期（平成21年4～6月期）の業況（自社）の見通しはどうか。



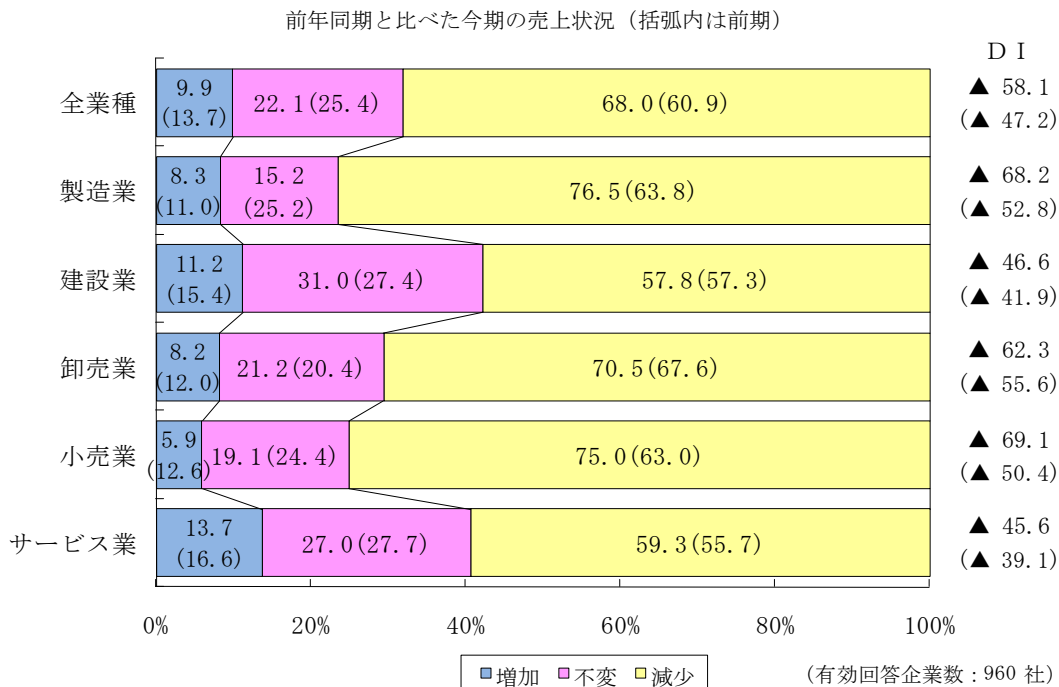
- ・全業種の「前年同期と比べた来期の見通し DI」は▲60.5（前期比▲6.0 ポイント）となり、8 期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・全ての業種でマイナス幅が拡大した。特に製造業が▲70.2（前期比▲11.1 ポイント）と極めて低い水準となった。

2. 売上

○全業種の「売上DI」は、前年同期比、今期水準が8期連続でマイナス幅が拡大した。
来期見通しは▲62.8（前期比▲12.7 ポイント）となり、特に製造業が▲69.9 と極めて低い水準となった。

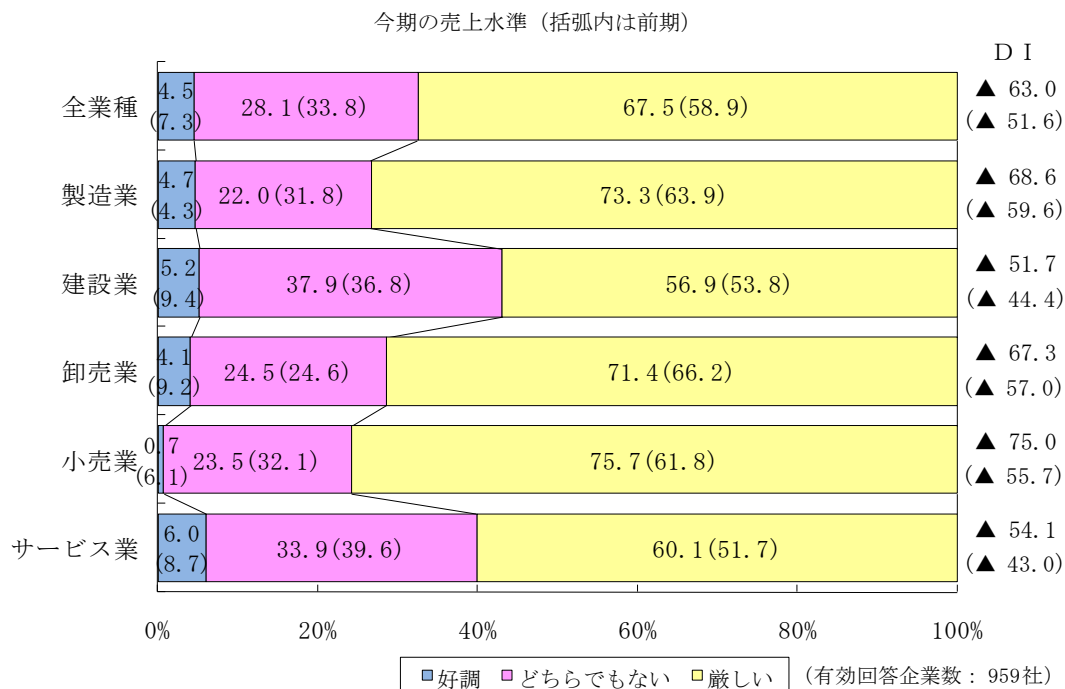


【質問4】前年同期（平成20年1～3月期）と比べた今期（平成21年1～3月期）の売上状況はどうですか。



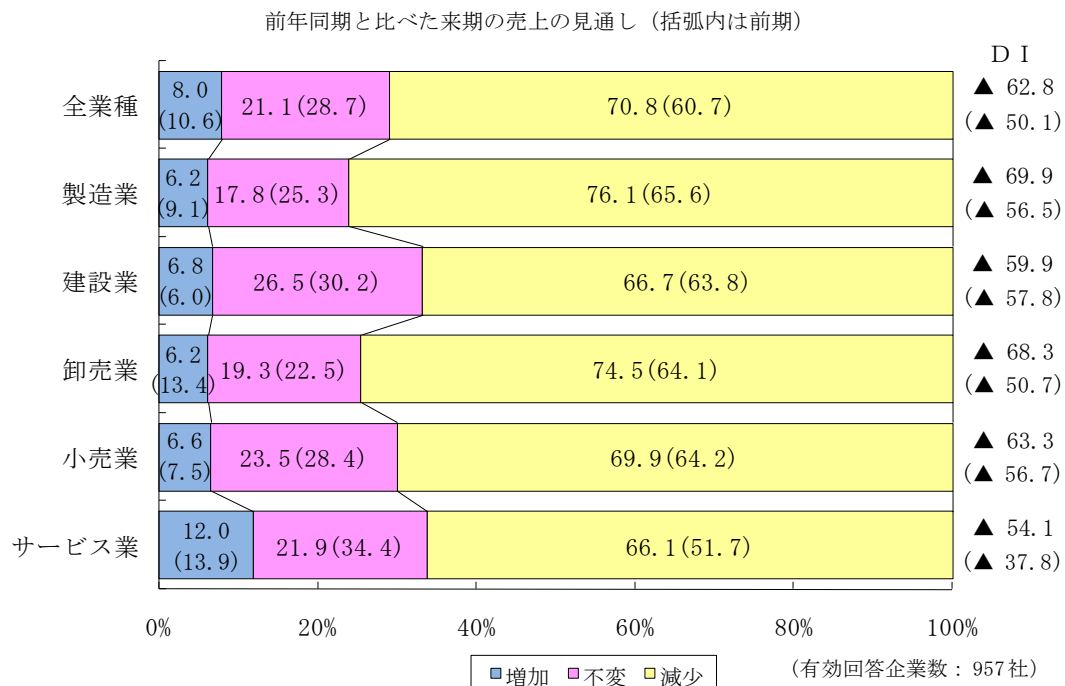
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の売上DI」は▲58.1（前期比▲10.9 ポイント）となり、8期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・全ての業種でマイナス幅が拡大した。特に製造業が▲68.2（前期比▲15.4 ポイント）、小売業が▲69.1（前期比▲18.7 ポイント）と大幅にマイナス幅が拡大した。

【質問5】 今期（平成21年1～3月期）の売上水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の売上水準DI」は▲63.0（前期比▲11.4ポイント）となり、8期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・全ての業種においてマイナス幅が拡大した。特に小売業が▲75.0（前期比▲19.3ポイント）と大幅にマイナス幅が拡大、極めて低い水準となった。また、製造業が▲68.6（前期比▲9.0ポイント）、卸売業が▲67.3（前期比▲10.3ポイント）と極めて低い水準となった。

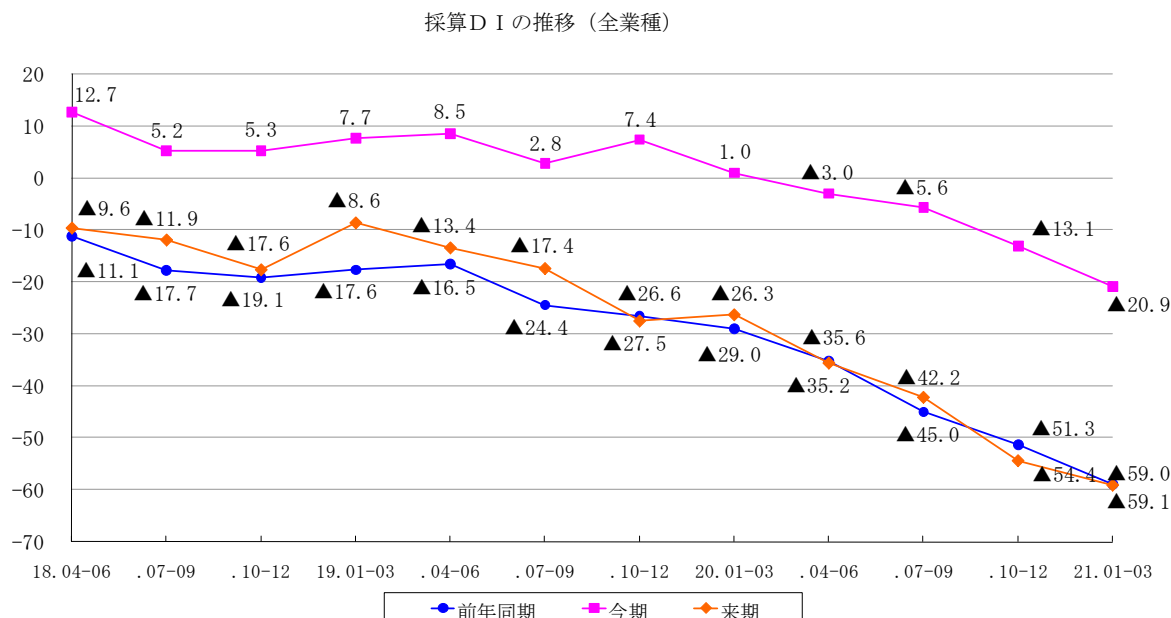
【質問6】 前年同期（平成20年4～6月期）と比べた来期（平成21年4～6月期）の売上の見通しはどうか。



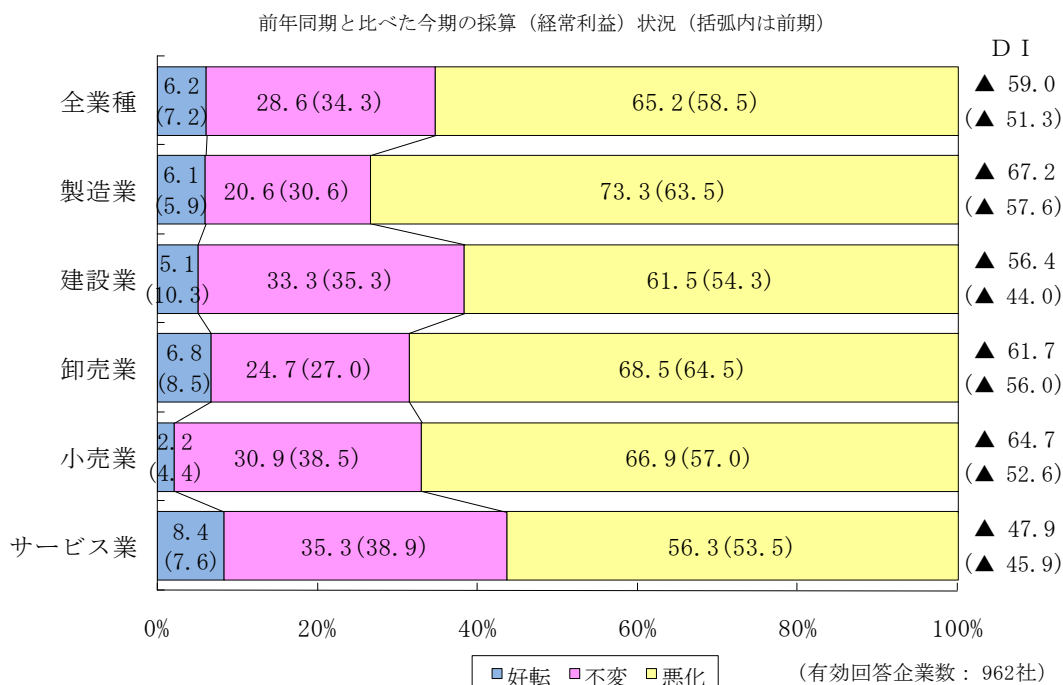
- ・全業種の「前年同期と比べた来期の売上見通しDI」は▲62.8（前期比▲12.7ポイント）となり、4期連続でマイナス幅が拡大し、約7割が売上減少の見通しと回答している。
- ・全ての業種においてマイナス幅が拡大した。製造業が▲69.9（前期比▲13.4ポイント）、卸売業が▲68.3（前期比▲17.6ポイント）と厳しい見通しとなった。

3. 採算（経常利益）

○全業種の「採算DI」は、前年同期比が▲59.0（前期比▲7.7ポイント）と7期連続でマイナス幅が拡大した。今期の採算水準は▲20.9（前期比▲7.8ポイント）となった。来期の見通しは▲59.1（前期比▲4.7ポイント）と厳しい見通しとなった。

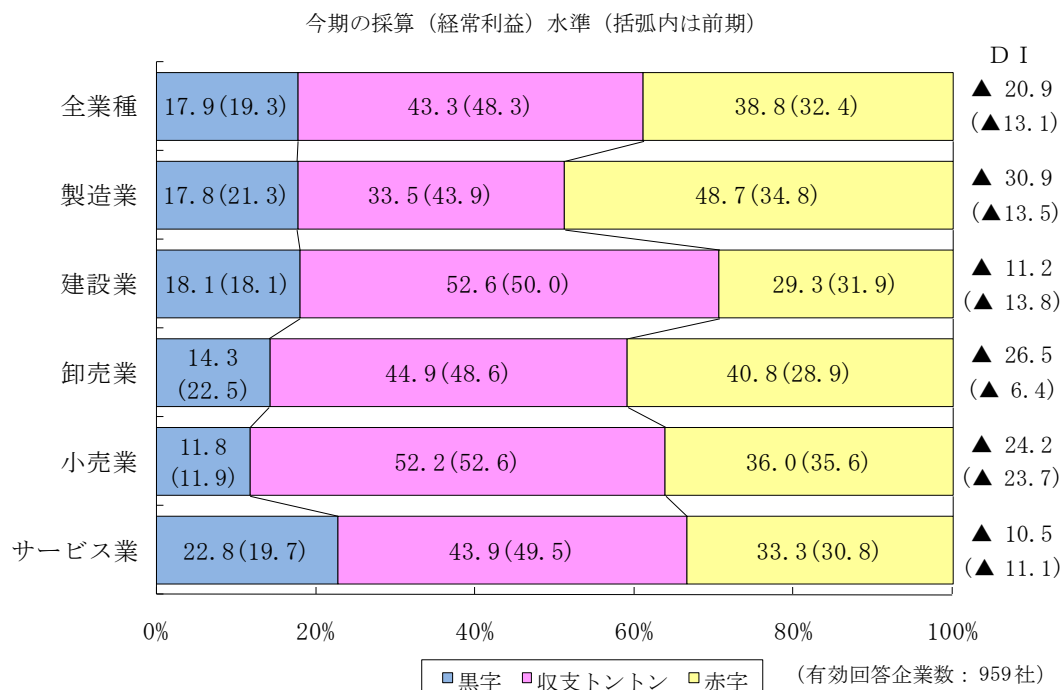


【質問7】前年同期（平成20年1～3月期）と比べた今期（平成21年1～3月期）の採算（経常利益）状況はどうか。



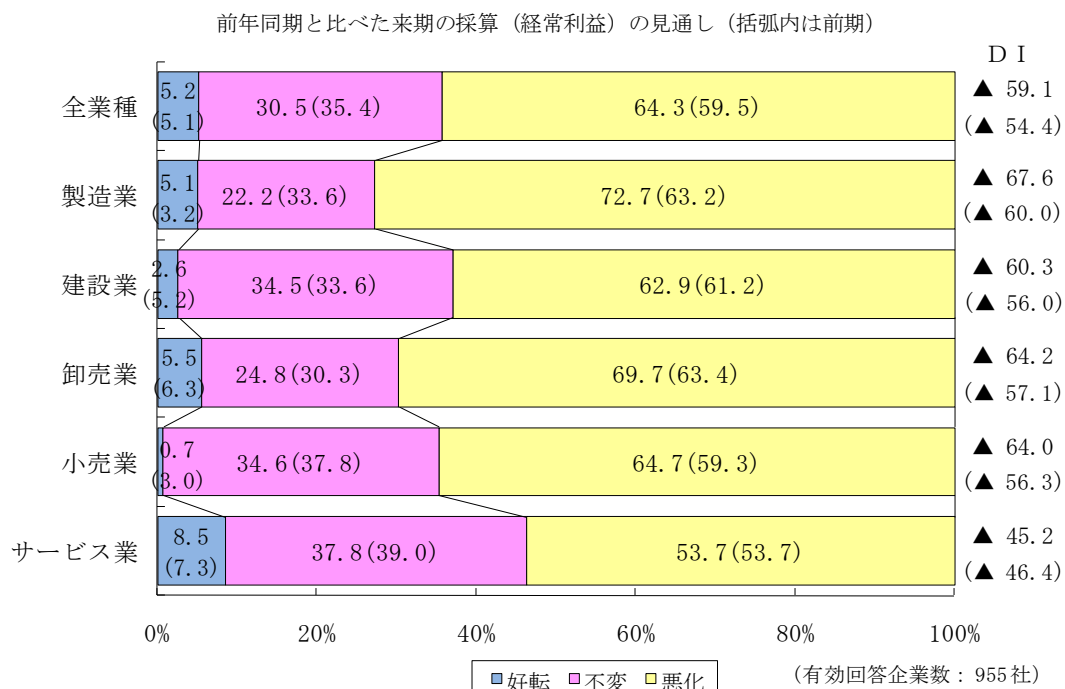
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の採算DI」は▲59.0（前期比▲7.7ポイント）となり、7期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・全ての業種においてマイナス幅が拡大した。業種別でみると、製造業が▲67.2（前期比▲9.6ポイント）、建設業が▲56.4（前期比▲12.4ポイント）とマイナス幅が大幅拡大した。また卸売業、小売業が極めて低い水準となった。

【質問8】 今期（平成 21 年 1～3 月）の採算（経常利益）水準はどうか。



- ・全業種の「今期の採算水準 DI」は▲20.9（前期比▲7.8 ポイント）と 5 期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・製造業が▲30.9（前期比▲17.4 ポイント）、卸売業が▲26.5（前期比▲20.1 ポイント）とマイナス幅が大幅に拡大した。小売業が▲24.2 と低い水準になっている。建設業とサービス業はほぼ横ばい。

【質問9】 前年同期（平成 20 年 4～6 月期）と比べた来期（平成 21 年 4～6 月期）の採算（経常利益）の見通しはどうか。

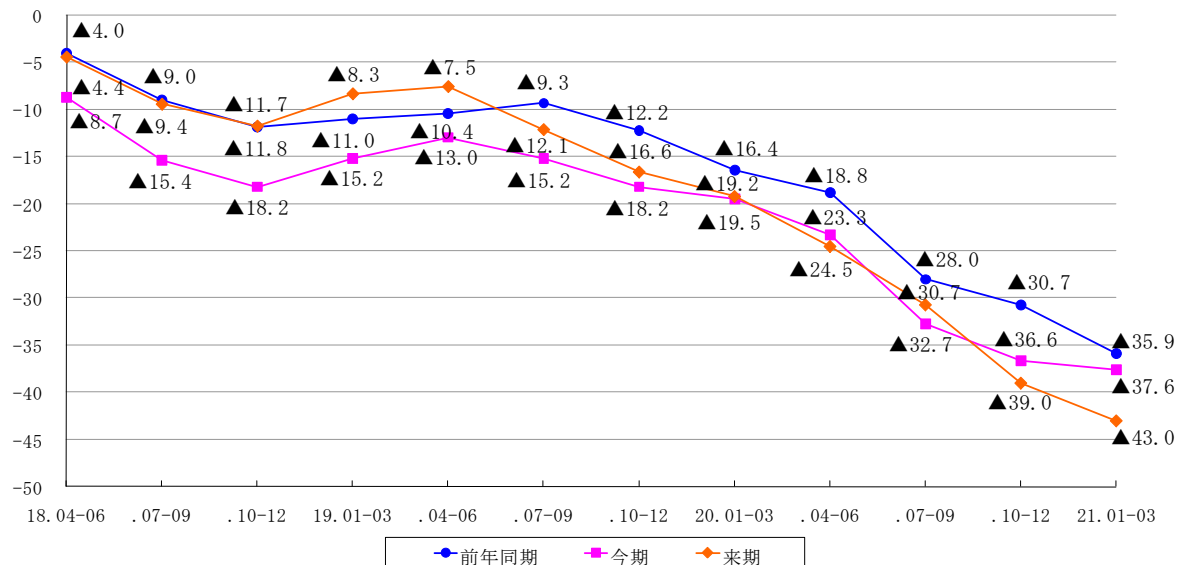


- ・全業種の「前年同期と比べた来期の採算見通し DI」は▲59.1（前期比▲4.7 ポイント）となり、マイナス幅が拡大した。
- ・サービス業を除く全ての業種でマイナス幅が拡大、マイナス 60 ポイントを超え厳しい見通しを示している。

4. 資金繰り

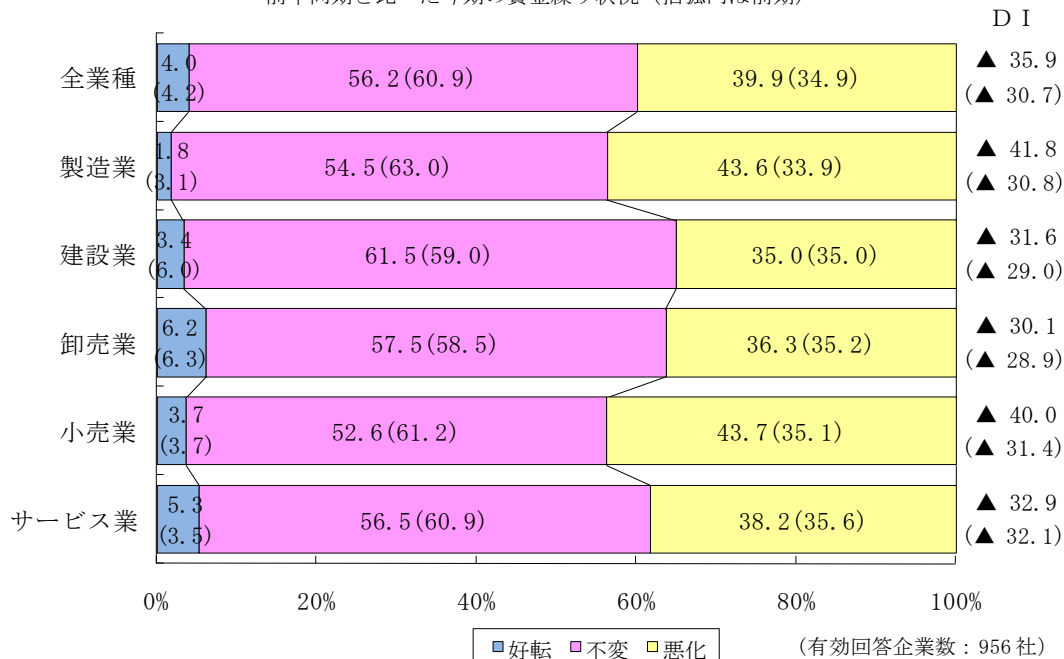
○全業種の「資金繰りDI」は、今期水準、来期見通しが7期連続でマイナス幅が拡大した。特に来期見通しは▲43.0（前期比▲4.0ポイント）となり、マイナス幅が拡大、厳しい見通しとなった。

資金繰りDIの推移（全業種）



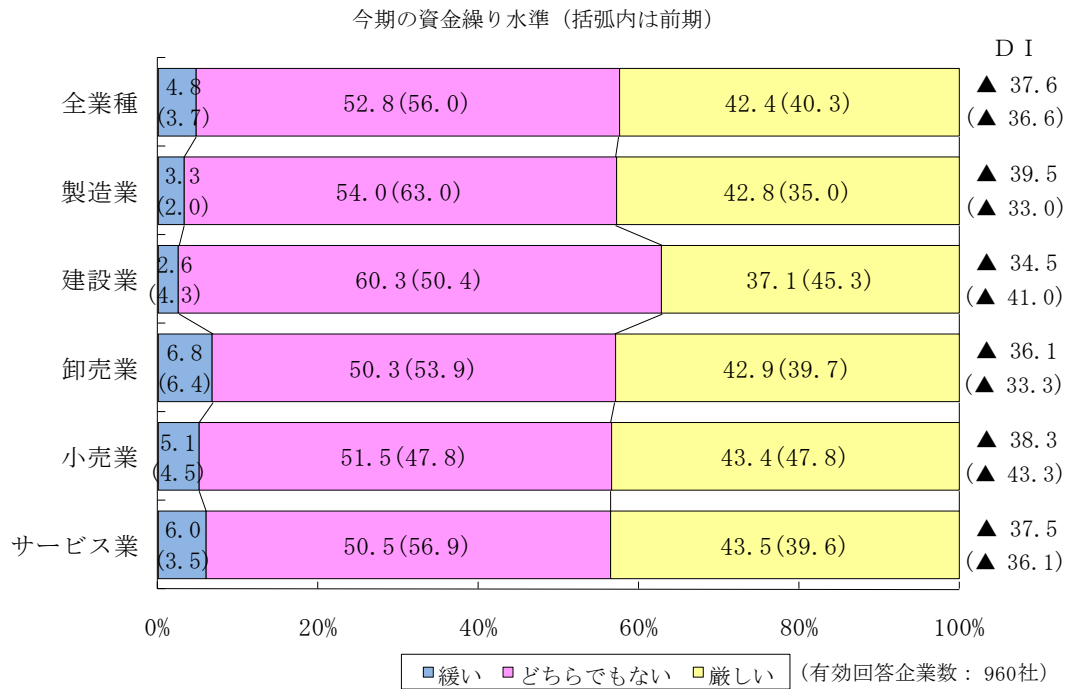
【質問10】前年同期（平成20年1～3月期）と比べた今期（平成21年1～3月期）の資金繰り状況はどうですか。

前年同期と比べた今期の資金繰り状況（括弧内は前期）



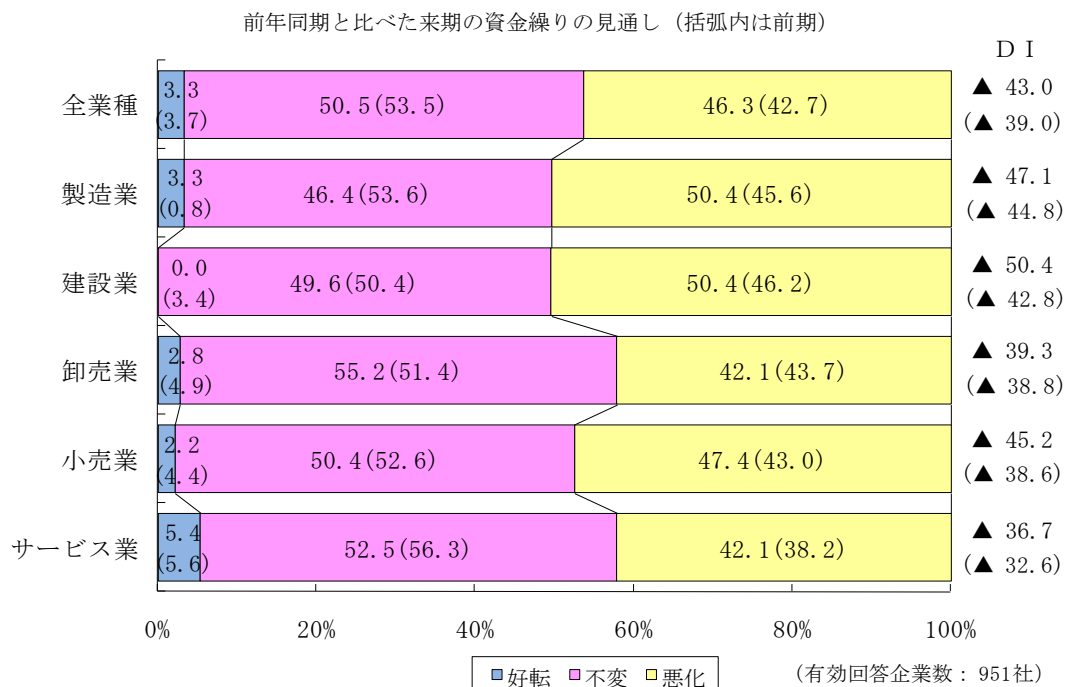
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の資金繰り水準DI」は▲35.9（前期比▲5.2ポイント）となり、6期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・全ての業種でマイナス幅が拡大した。特に製造業▲41.8（前期比▲11.0ポイント）、小売業▲40.0（前期比▲8.6ポイント）でマイナス幅が大幅に拡大した。

【質問 1 1】 今期（平成 21 年 1～3 月期）の資金繰り水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の資金繰り水準 DI」は▲37.6（前期比▲1.0 ポイント）となり、7 期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・製造業は▲39.5（前期比▲6.5 ポイント）とマイナス幅が拡大した。一方で建設業が▲34.5（前期比+6.5 ポイント）、小売業が▲38.3（前期比+5.0 ポイント）マイナス幅が縮小した。

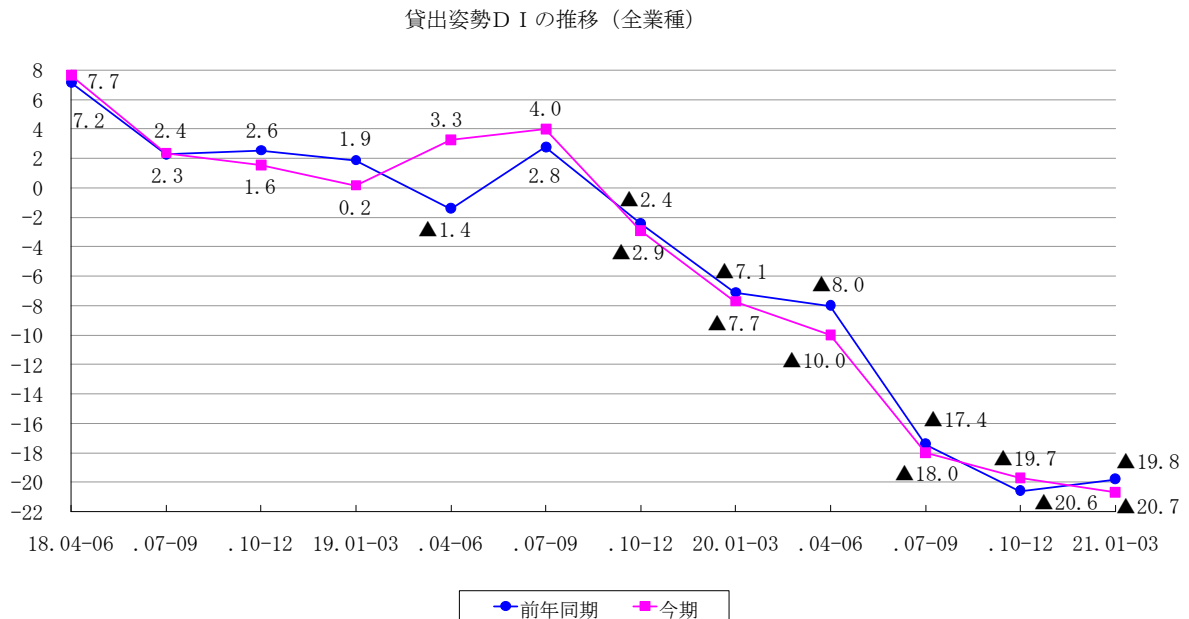
【質問 1 2】 前年同期（平成 20 年 4～6 月期）と比べた来期（平成 21 年 4～6 月期）の資金繰りの見通しはどうか。



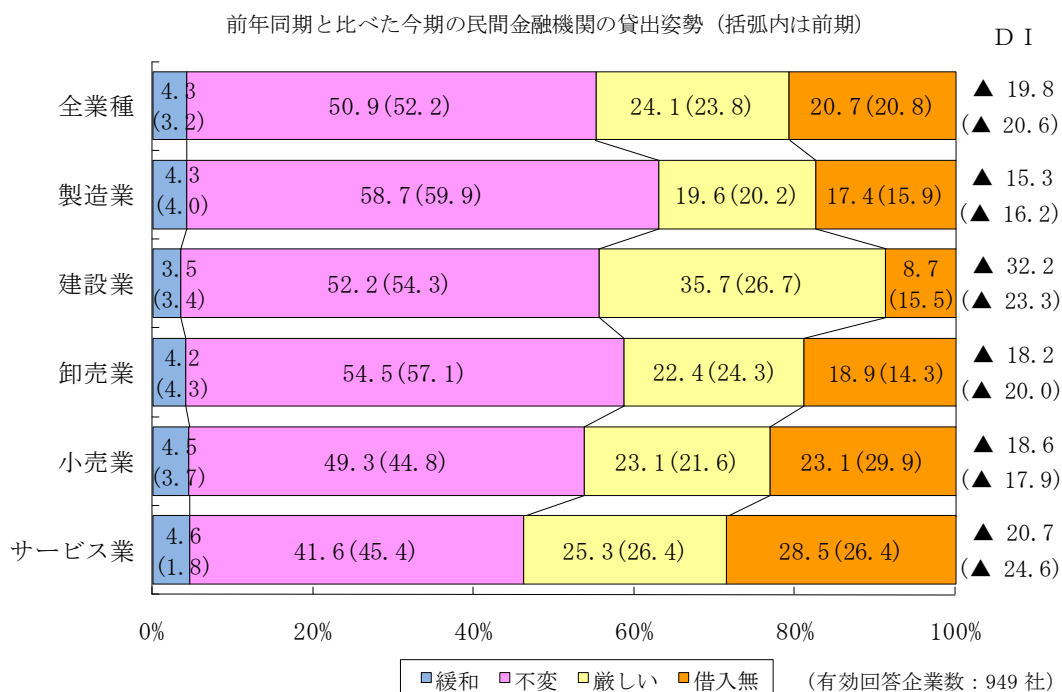
- ・全業種の「前年同期と比べた来期の資金繰り見通し DI」は▲43.0（前期比▲4.0 ポイント）となり、7 期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・全ての業種でマイナス幅が拡大し、厳しい見通しを示した。特に建設業は▲50.4（前期比▲7.6 ポイント）で、好転する見通しの企業が 1 社もなかった。

5. 民間金融機関の貸出姿勢

○全業種の「民間金融機関の貸出姿勢DI」は今期水準が6期連続でマイナス幅が拡大したものの、前年同期比はマイナス幅が縮小した。

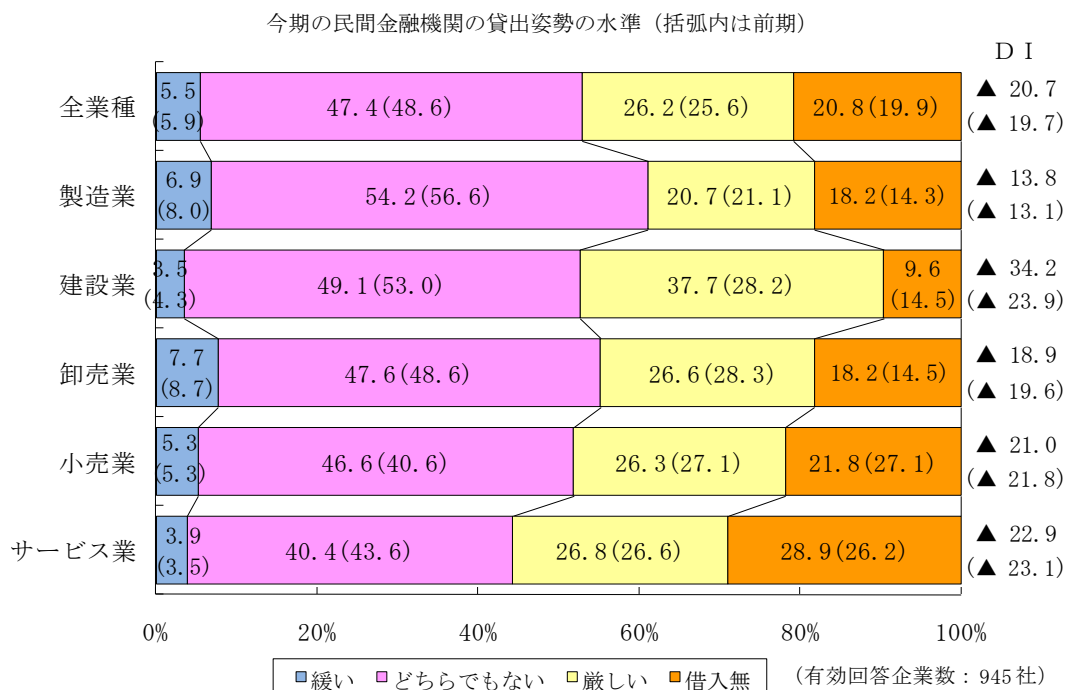


【質問13】前年同期（平成20年1～3月期）と比べて、今期（平成21年1～3月期）の民間金融機関の貸出姿勢は、変化がありましたか。



- ・全業種の「前年同期と比べた今期の民間金融機関の貸出姿勢DI」は▲19.8（前期比+0.8ポイント）となり、若干マイナス幅が縮小した。
- ・建設業は▲32.2（前期比▲8.9ポイント）とマイナス幅が拡大した。一方でサービス業が▲20.7（前期比+3.9ポイント）とマイナス幅が縮小した。

【質問 1 4】今期（平成 21 年 1～3 月期）の民間金融機関の貸出姿勢の水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の民間金融機関の貸出姿勢 DI」は▲20.7（前期比▲1.0 ポイント）となり、6 期連続でマイナス幅が拡大した。
- ・建設業は▲34.2（前期比▲10.3 ポイント）とマイナス幅が大幅に拡大した。その他の業種はほぼ横ばいとなっている。

- ※ 本集計結果におけるDI値とは、「好転」「良い」「増加」「好調」「黒字」「緩和」「緩い」とする企業の割合から、「悪化」「悪い」「減少」「不調」「赤字」「厳しい」とする企業の割合を差し引いた値を表す。
- ※ 本集計結果における前期とは、平成20年10月～12月期調査を表す。
- ※ 全ての質問について、割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100.0%にならない。
- ※ 本調査結果の集計にあたっては、独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施している「中小企業景況調査」の調査結果を一部活用している。